

古墳時代の流行

前方後円墳などの古墳には、きらびやかな馬具や無骨な武具、面妖な祭祀道具など、さまざまな副葬品が被葬者とともに納められます。こうした副葬品のなかでも玉類(ビーズ)は、被葬者を着飾るアクセサリーとして使用されたと考えられており、「着飾る」という意味で現代を生きる私たちにも身近なものではないでしょうか。

古墳時代後期(6世紀初頭)につくられた築瀬二子塚古墳の副葬品には、島根県産の碧玉製管玉や水晶製切子玉が副葬されています。築瀬二子塚古墳以降の下増田上田中1号墳、後閑3号墳、高橋II遺跡K-2号墳、七曲古墳にも島根県産の玉類が見つかっており、6世紀代に安中市域で島根県ブランドのアクセサリーが流行していました。



島根県産の玉類(後閑3号墳出土)

安中市域で最も早く島根県産の玉類をとりいれた築瀬二子塚古墳の被葬者は、流行の最先端を行く人物だったのかもしれない。流行品であった島根県ブランドの玉類はふるさと学習館で展示中です。



後世に伝えよう！
身近な文化財

令和元年度
「文化財愛護ポスター」
優秀賞(敬称略)
中島橙子
(安中第二中学校2年)

企画展開催延期のお知らせ

感染症対策のため春季企画展の開催は延期になりました。日程は未定ですが、改めて開催しますので続報をお待ちください。

安中市学習の森ふるさと学習館春季企画展

あの日あの頃この町で

～写真で振り返る安中市～



「赤城国体 ボクシング」昭和58年



「碓氷関所まつり」平成7年

「碓氷駅前通り」明治38年

問合せ▶安中市学習の森 ふるさと学習館
安中市上間仁田951 (☎382-7622) mail: furusato@city.annaka.lg.jp